



第 1388 回例会報告

平成26年11月7日(木)晴

会長挨拶

会長 吉澤邦雄

セブの音楽会

30周年記念事業であるセブ島における“鍵盤ハーモニカを使った音楽会”に参加し、昨晚遅く戻ってまいりました。

音楽会等イベントについては後ほど詳細な報告がなされると思いますが、マクタン島を中心とした5小学校よりそれぞれ選抜された児童による演奏は、我々が思っていた以上に素晴らしいもので、正直言ってあれ程まで鍵盤ハーモニカを使いこなせるとは考えておりませんでした。学校をあげての並々ならぬ取り組みがあったのだと思います。また、途中で組み込まれた渡邊婦人による日本舞踊は、驚きと共に喝さいを浴び、これに引き続き行われた“ずんどこ節”も大いに受け、終盤には会場にいる総勢二百数十名による総踊りに発展しました。かように今回の記念イベントは素晴らしい日本文化の紹介と共に所期の目的を十二分に達成し大成功だったように思います。私はと申しますと、1日目のレセプションに続き当日の英語のスピーチを控え、心穏やかではなかったのですが、拙い英語力で恥と冷や汗をかきつつ何とか挨拶をしてまいりました。

翌日は先にマッチング・グラントにて実施した井戸の補修、増設箇所の視察及びデイケアセンターへの訪問、支援を行いました。時間の関係で井戸の視察は2カ所にとどまりましたが、ポンプが跡形もないところと、丁寧に補修されつつ使われている両極端な事例をみることができました。事後のフォローアップの必要性を強く感じるどころでした。

今回は奥様方を含め総勢12名、6日間という少々長い日程で、体調面等心配されましたが大きなトラブルもなく無事に帰国できたことは何よりでした。参加された皆さん、お疲れ様でした。

◇幹事報告◇

【連絡事項】

認知症の人と家族の会からお礼状が届きました。

【受領文書】

諏訪ロータリー、富士見ロータリーよりウィークリーが届いています。

第 1388 回例会

セブ支援訪問報告

国際奉仕委員会 長崎政直

2014～2015セブ訪問の目的は以下の通りです。

<p>■出席報告</p> <p>会員数 38名 出席対象 37名 出席者数 28名 出席率 75.6% 前回修正 92.1%</p>	<p>■ニコニコBOX</p> <p>5名 7,000円 累計 220,000円 目標額 60万円 達成率 36.6%</p>	<p>■今週のことば</p> <p>30周年記念事業セブバージョン大成功でした 溝口 幸二</p> <p>無事ご帰還おめでとうございます。ありがとうございました 御子柴文夫</p> <p>岩村様お花ありがとうございます。 渡辺 芳紀</p>
---	--	---



- ① セブの子供達に音楽を・・・日本の子供達とセブの子供たちの国際理解と交流を!!事業の5年目の節目に、5年間の成果発表と更なる拡大を目的に、現地で「看板ハーモニカ」を使った音楽会の開催
- ② ルドヴァ市3校への鍵盤ハーモニカの寄贈
- ③ Palish of two hearts (デイ・ケア・センター)の支援
- ④ 20～25期事業、「クリーン・ウォーター・プロジェクト」の検証

1. 音楽会

マクタン、イボ、ブアヤ、プンタ・エンガノ、グアダルーペの5小学校の生徒、PTA、先生300人近い参加を得、期待以上の成果を上げることが出来ました。

私達、日本からの贈り物として、伝統的文化、渡邊夫人の日本舞踊、日本の大衆文化ズンドコ節ダンスも好評でした。

2. 鍵盤ハーモニカの寄贈

コルドヴァ市のコゴン、カタルマン、イババオ3小学校への寄贈目録をお渡ししました。尚、鍵盤ハーモニカ約50台余は11月21日に各校へ配送される予定です。

3. デイ・ケア・センター支援

Arita さんがご健在で、多くの就学前の子供たちが生活習慣や英語の学習をしていました。また、かつてここでお世話になった青年が後継者になるべく働き始めました。

4. クリーン・ウォーター・プロジェクトの検証

ポンプ故障で1年以上使われていない井戸、健在で周囲の住民に活用されている井戸、集落全体が消滅した井戸など様々でした。現地コミュニティの対応の差、マッチンググラントの相手国ロータリークラブの対応、さらにセブ社会の経済的発展等の様々な要因があり、支援の難しさを感じるとともに今後の支援の参考になると思っています。

5. ボホール島観光

世界遺産チョコレートヒル、メガネ猿観察等を楽しんでまいりました。

6. セブ社会の発展

発展のスピードは高く、セブ全体に建設ラッシュです。車の保有台数も増え、交通網インフラが追いつかず大渋滞を引き起こしていました。そう遠くない未来にGDPで、十指に入ると予測する学者もいます。そうした変化の中で、後進国支援も変わっていくだろうと思います。

ともあれ、諏訪湖クラブの国際社会奉仕活動は、セブを訪問する会員だけでなく、全会員の皆様のご理解とご支援によって成立しています。心より感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。

うれしいお知らせ

小林聖仁会員より、うれしいFAXが届きました。

11月6日の「秋の園遊会」に全国保護司連盟常務理事の立場で天皇皇后両陛下より招待を受けて出席しました。

翌日7日は法務省にて叙勲伝達式に臨み、午後には皇居にて天皇陛下への拝再をしてみました。

園遊会では天皇、皇后両陛下をはじめ、皇太子、秋篠宮ご夫妻やほかの皇族の方々から保護司活動への労いのお言葉をいただいたり、様々な質問もあり、更生保護に関心を持たれていることに、驚きと感激を致しました。全国の保護司にとっても大きな励みになります。

いずれご報告いたしますが、取り敢えずお知らせまで。

今日の結婚祝!!



左より望月会員、山崎会員、御子柴会員、丸山会員、小松会員、尾上会員、岩村会員のみなさん